

超促進耐候性試験装置

【岩崎電気株式会社 SUV-W161】

【設備の特徴】

・本装置は、プラスチック製品、樹脂材料、電気製品、塗料等の主に屋外で使用される部材や材料が、長時間紫外線等に暴露された後の性能の劣化を、時間を促進して実験するための試験装置である。本試験装置では、10年間分の紫外線照射量を、最短約500時間で実現が可能である。

【設備の仕様概要、技術内容】

■測定方法

・測定ワークに被測定物を挿入し、温度湿度を管理した環境下で、光学フィルターにて波長と光量を管理された紫外線を一定時間照射し、被測定物の材料の劣化を促進させて試験を実施する。

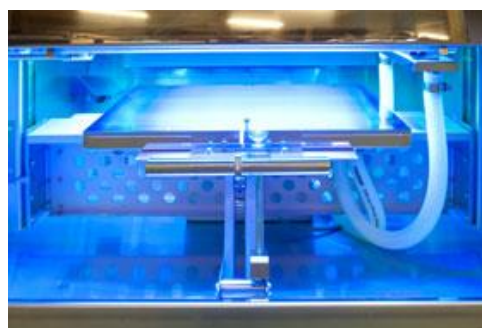
■仕様概要

照射紫外線波長	295nm～450nm
紫外線照度	75～150±8mW/cm ²
照射時温度範囲	50～85℃
休止時温度範囲	35～75℃
照射時湿度範囲	40～70%RH
休止時湿度範囲	50～90%RH
有効照射面積	190×422mm
使用ランプ	メタルハイドライドランプ
利用料金	1,500円/時間

■効果が期待される利用分野

【活用例】

- ・プラスチックや樹脂の耐候性評価
- ・電気製品の耐候性評価
- ・塗装面の耐候性評価



【お問い合わせ先】

秋田県産業技術センター

電子光応用開発部 電子・通信グループ 近藤 康夫

TEL:018-862-3414 / FAX:018-865-3949

〒010-1623 秋田県秋田市新屋町字砂奴寄4-11 / <http://www.rdc.pref.akita.jp/>